中央アジア関連研究文献リスト 2015

本リストは、2015 年（1 月～ 12 月）に刊行された、原則としてイスラーム化以降の中国新疆および旧ソ連領のムスリム地域およびその周辺地域に関する学術文献をリストアップしたものである（理科系のものを除く）。原則的に、国内で刊行された、国内で活動する研究者による著作を中心とし、エッセイや事典項目等は除外した。ただし、本学会会員の著作については、海外刊行のものも一部含まれる。なお、各文献の副題はコロンつなぎで統一した。

書籍

淺村卓生『国家建設と文字の選択 : ウズベキスタンの言語政策』風響社（800 円）

アナトラ・グリジャナティ『中国の少数民族教育政策とその実態 : 新疆ウイグル自治区における双語教育』三元社（3,000 円）

アフメットジャン･オスマン（著）、ムカイダイス、河合眞（翻訳）『ああ、ウイグルの大地』左右社（1,500 円）

アフメットジャン・オスマン（著）、ムカイダイス、河合眞（翻訳）『ウイグルの詩人アフメットジャン・オスマン選詩集』左右社（1,500 円）

宇山智彦、藤本透子編『カザフスタンを知るための 60 章』明石書店（2,000 円）

小田桐奈美『ポスト・ソヴィエト時代の「国家語」: 国家建設期のキルギス共和国における言語と社会』関西大学出版部（3,500 円）

小野亮介『亡命者の二〇世紀 : 書簡が語る中央アジアからトルコへの道』風響社（800 円）

KAWANO Asuka, *Mahalla and its Educational Role : Nation-Building and Community Education in Uzbekistan*, Fukuoka : Kyushu University（4500 円）

KAWAHARA Yayoi, Umed MAMADSHERZODSHOEV, *Documents from private archives in right-bank Badakhshan : introduction*, Tokyo : NIHU Program Islamic Area Studies Department of Islamic Area Studies, Center for Evolving Humanities, Graduate School of Humanities and Sociology, the University of Tokyo（非売品）

坂井弘紀（翻訳）『アルパムス・バトゥル : テュルク諸民族英雄叙事詩』（東洋文庫）平凡社（3,100 円）

高田和夫『帝政ロシアの国家構想 : 1877–78 年露土戦争とカフカース統合』山川出版社（7,000 円）

ツラポヴァ・ナルギーザ『はじめてのウズベキ〈スタン〉語』明日香出版社（2,900 円）

寺山恭輔『スターリンと新疆 : 1931–1949 年』社会評論社（5,200 円）

富樫耕介『チェチェン : 平和定着の挫折と紛争再発の複合的メカニズム』明石書店（7,000 円）

中嶋善輝『簡明ウズベク語辞典』大阪大学出版会（7,600 円）

———.『簡明ウズベク語文法』大阪大学出版会（4,500 円）

西澤悟、Ulug`bek Eshonqulov『ウズベク語簡易文法便覧』桜耶書院（1,000 円）

バーブル（著）、間野英二（翻訳）『バーブル・ナーマ 3: ムガル帝国創設者の回想録』（東洋文庫）平凡社（3,200 円）

藤本透子編『現代アジアの宗教 : 社会主義を経た地域を読む』春風社（4,200 円）

「ウズベキスタンのマハッラにおける経済・社会変化とイスラーム」（菊田悠）

「中央アジア定住ムスリムの婚姻と離婚」（和﨑聖日）

「移動が生み出すイスラーム動態」（藤本透子）

などを所収

山根聡、長縄宣博 編『越境者たちのユーラシア』ミネルヴァ書房（4,500 円）

「地域大国に生きるムスリム」（山根聡）

「イスラーム大国としてのロシア」（長縄宣博）

などを所収

湯浅剛『現代中央アジアの国際政治 : ロシア・米欧・中国の介入と新独立国の自立』明石書店（5,400 円）

論文

青木健太「ターリバーンとアフガニスタン政府の和平協議 : ムッラー・ウマルの死とその波紋」『中東研究』2015 年度 (2), 95–106 頁

秋山徹「遊牧英雄からイスラーム的遊牧英雄へ : ロシア帝国の中央アジア統治と現地民コラボレーターの権威」『イスラーム地域研究ジャーナル』7, 19–39 頁

アハマド・ニアズ「特集 中央アジア地域金融の新しい視点と日本への示唆」『New finance』45(11), 32–40 頁

アコマトベコワ・グリザット「社会体制転換に伴う「観光」の変容：ポスト社会主義国キルギスにおける温泉施設利用者のライフヒストリー調査」『史苑』75(2), 135–172 頁

安部雅人「カスピ海周辺地域における石油及び天然ガスの輸出戦略と持続可能性：アゼルバイジャンのパイプライン・プロジェクトを事例として」『国際開発研究』24(1), 135–149 頁

石村眞一「中国新疆ウイグル自治区における桶・樽の伝播経路」『紀要』51, 147–162 頁

磯貝真澄「東洋学者とつながるムスリム知識人」『歴史評論』783, 58–66 頁

———.「19 世紀後半ロシア帝国ヴォルガ・ウラル地域のムスリムの遺産分割争い：オレンブルグ・ムスリム宗務協議会による「裁判」とイスラーム法」『東洋史研究』74(2), 386–355 頁

稲垣文昭「中央アジアの水紛争：タジキスタンのログン水力発電所を巡る動向」『国際情勢：紀要』85, 107–115 頁

今村薫「Camel Production in Kazakhstan」『名古屋学院大学論集 人文・自然科学篇』52(1), 1–13 頁

鵜島三壽、中村真「ウズベキスタンのドゥタール製作」『関西外国語大学研究論集』102, 131–151 頁

ウマロヴァ・グルバホル（著）、樋渡雅人（翻訳）「ウズベキスタンのマハッラ：社会自治組織としての発展の歴史」『地域経済経営ネットワーク研究センター年報』4, 147–155 頁

ウメトバエワ , カリマン「ソ連崩壊後のクルグズ共和国におけるコムズの普及」『ロシア・ユーラシアの経済と社会』999, 18–29 頁

———.「クルグズ共和国における楽器改良：ソ連時代から現在にいたるまで」『東京藝術大学音楽学部紀要』41, 1–17 頁

宇山智彦「新「グレートゲーム」時代の中央アジア：その主体性と客体性」『外交』34, 12–20 頁

海野典子「D. カスィモヴァ氏の近著『ウイグリヤ』について」『日本中央アジア学会報』11, 72–78 頁

大石惇「中国新疆伊犁州における野生リンゴの保全活動」『ヒマラヤ学誌』16, 224–233 頁

大塚修「ハーフィズ・アブルーの歴史編纂事業再考」『東洋文化研究所紀要』168, 76–32 頁（245–289 頁）

岡奈津子「市場経済化後のカネとコネ：カザフスタンの人々の暮らしはどう変わったのか」『アジ研ワールド・トレンド』21(8), 51–57 頁

緒方佑衣「レファレンスツール紹介 (39) 中央アジア・南コーカサス諸国の百科事典」『アジア情報室通報』13(3), 9–11 頁

奥真裕「トルクメン語の (連用修飾的) 複文」『語学研究所論集』20, 333–341 頁

奥田幸夫、大西純也「ウズベキスタンの灌漑農地における塩害モニタリングの現状」『日本海水学会誌』69(5), 293–300 頁

奥田幸夫、大森圭祐、大西純也「ウズベキスタンの塩害農地における垂直排水の実態」『水土の知 : 農業農村工学会誌』83(5), 381–384 頁

奥田幸夫、後藤 幸輝、北川巌「ウズベキスタンにおける穿孔暗渠を活用した除塩の試行」『水土の知』83(7), 541–544 頁

小田桐奈美「How to Deal with the Elements of Russian Origin : Developments of Orthographic Reforms for the Kyrgyz Language」『関西大学外国語学部紀要』12, 69–80 頁

小沼孝博「「異人」イメージの政治性 : 一八 - 一九世紀の清王朝と中央アジアの事例から」『東洋文化研究』17, 335–357 頁

———.「トルファン・オアシス社会の分断 : 清とジューンガルの狭間で」『歴史と地理』686, 1–14 頁

———.「アンカラ民族学博物館所蔵トルファン郡王家関連史料の調査」『日本中央アジア学会報』11, 61–71 頁

小野亮介「『新トルキスタン』誌におけるゼキ・ヴェリディ・トガンの文化観とその背景」『史學』84(1–4), 181–209 頁

帯谷知可「中央アジア関連資料収集の展望 : ウズベキスタンを中心に」『アジア情報室通報』13(3), 2–8 頁

———.「ユーラシア諸国のうごき「砂漠の真珠」の憂鬱 : ウズベキスタンのロシア・アヴァンギャルド・コレクションをめぐって」『ユーラシア研究』53, 65–68 頁

風戸真理「乳製品の多様性と消費者の行動 : カザフスタンと北海道の事例より」『北星学園大学短期大学部北星論集 .』13, 61–71 頁

茅原郁生「中国のシルクロード戦略と中央アジアの戦略的価値 : ウズベキスタン国の大統領選挙を通じて考えたこと」『陸戦研究』2015, 47–57 頁

川本正知「カラウナスとチャガタイ・ハン国 : マルコ・ポーロのカラオナスをめぐって」『歴史と地理』681, 1–16 頁

木下恵二「1940 年代国民党による新疆統治の論理 : 呉忠信と張治中を中心に」『常磐国際紀要』19, 49–68 頁

木之下健一「ロシアにおける宗教の教育の教科化とムスリムの人間形成を巡る葛藤」『ロシア・ユーラシアの経済と社会』998, 39–49 頁

小松久男「トイとイスラーム : 歴史と現在」『ロシア・ユーラシアの経済と社会』999, 2–17 頁

斎藤完「ウズベキスタン共和国における伝統文化の保護 : ユネスコ無形文化遺産・ナウルーズの事例を中心に」『研究論叢 . 第 3 部 , 芸術・体育・教育・心理』65, 79–86 頁

———.「シャルク・タロナラル (東洋音楽祭) の概要 : ウズベキスタン共和国による無形文化遺産保護に関する一断面」『研究論叢 . 第 3 部 , 芸術・体育・教育・心理』65, 87–92 頁

齋藤竜太「ウズベキスタンの水消費者組合 : 現状、問題点、展望」『日本中央アジア学会報』11, 29–54 頁

櫻間瑛「現代ロシアにおける民族運動のなかの「民族文化」表象とその限界 : クリャシェン (受洗タタール) の「民族的祭り」を事例に」『地域研究』16(1), 240–268 頁

サザーランド・アリム「アフガニスタン人通訳者の体験 : アフガニスタン復興事業に携わるカナダ軍の活動を彼らはどうとらえていたのか」『言語・地域文化研究』21, 313–332 頁

澤田稔「『タズキラ・イ・ホージャガーン』日本語訳注 (2)」『富山大学人文学部紀要』62, 89–118 頁

———.「『タズキラ・イ・ホージャガーン』日本語訳注 (3)」『富山大学人文学部紀要』63, 33–57 頁

塩野崎信也「「タタール」から「アゼルバイジャン」へ」『オリエント』57-2, 41–62 頁

七里富雄「アフガニスタンにおける FAO の活動 (第 1 回) 水資源管理の強化に向けて」『世界の農林水産』841, 26–29 頁

清水学「中央アジアの地政学と習近平政権の課題」『東亜』573, 10–19 頁

———.「中国と湾岸を結ぶ南アジア : パキスタン・アフガニスタンの動向と関連させて」『中東レビュー』2, 138–156 頁

下社学「中央アジア 5 カ国ビジネス事情 : 独立から四半世紀を経て」『ジェトロセンサー』65(780), 44–47 頁

シャミシエワ・ナズグリ「日本語とキルギス語の自動詞、他動詞における語彙化に関する一考察」『日本語・日本文化研究』25, 122–132 頁

菅原睦「A Middle Turkic qasida in the Uyghur script」『東京外国語大学論集』91, 113–141 頁

鈴木均「2014 年のアフガニスタン ガニーとアブドゥッラーの合意で挙国一致政権が発足」『アジア動向年報』2015, 644–661 頁

Stanikzai Mohammad Ajmal、Castro Juan Jose「アフガニスタン共和国における伝統住宅とその地震被害について」『建築の研究』227, 16–19 頁

スレイメーノヴ , グリナール（著）、中山 顕（翻訳）「翻訳 カザフスタン共和国に裁判統制は存在するか ? : 一つの問題提起」『名古屋大学法政論集』263, 569–604 頁

宗野ふもと「ウズベキスタンのバザールにつどう人びと」『季刊民族学』39(4), 87–99 頁

相馬拓也「鷲使いの民族誌 : モンゴル西部カザフ騎馬鷹狩文化が育むイヌワシ馴化の伝統知」『文化人類学』80(3), 427–444 頁

———.「モンゴル西部バヤン・ウルギー県におけるヤギと牧畜民の新たな関係 :「ヤギ飼い」

のライフヒストリーから探るアルタイ系カザフ社会の地域開発」『ヒトと動物の関係学会誌』(41), 47–57 頁

———.「モンゴル西部アルタイ系カザフ騎馬鷹狩文化の存続をめぐる脆弱性とレジリエンス」『E-journal GEO』10(1), 99–114 頁

Sofia Sahab、兼田敏之「A Study on Neighborhood Functions of 'GOZARS' in Kabul, Afghanistan」『日本建築学会計画系論文集』80(716), 2253–2260

タジグリ・エリキン、中山徹「都市部と農村部におけるウィグル族の生活実態について：新疆ウィグル自治区カシュガル地区を対象に」『日本建築学会計画系論文集』80(717), 2557–2567 頁

タスタンベコワ・クアニシ「カザフスタンの少数民族教育政策に関する一考察：教育スタンダードにおける言語教育の比重の分析を通して」『筑波教育学研究』13, 39–57 頁

田中賢治「縮小・消滅するアラル海 背景にある教訓」『環境会議』44, 58-63 頁

田中哲二「ウズベク政治・経済の安定を演出した大統領選挙」『アジア時報』46(5), 4–9 頁

中馬瑞貴「カザフスタンの新経済政策と経済特区」『ロシア NIS 調査月報』60(4), 18–29 頁

———.「ウズベキスタンとカザフスタンの大統領選挙 : 世界有数の長期政権となるか ?」『ロシア NIS 調査月報』60(6), 34–41 頁

寺山恭輔「1930 年代を中心とするソ連の対モンゴル、新疆政策の類似点と相違点」『News letter』27, 110–113 頁

峠嘉哉、田中賢治、中北英一「アラル海流域における陸域水循環モデルを用いた気候変動の水需給バランスへの影響評価」『地球環境研究論文集』23, 183–188 頁

富樫耕介「「コーカサス首長国」と「イスラーム国」: なぜ「チェチェン人」がシリアやイラクで戦っているのか」『中東研究』522, 72–85 頁

———.「北コーカサスを理解するための分析視角 : 観察可能なデータに基づく追跡可能な理解を求めて」『ロシア・ユーラシアの経済と社会』994, 2–16 頁

トフタミルザエワ・マシフラホン「教育とジェンダーからみた地域間格差 : ウズベキスタンにおける現地調査をもとに」『ロシア・ユーラシアの経済と社会』999, 30–44 頁

長沼秀幸「19 世紀前半カザフ草原におけるロシア帝国統治体制の形成 : 現地権力機関と仲介者のかかわりを中心に」『スラヴ研究』62, 197–218 頁

———.「小沼孝博『清と中央アジア草原 — 遊牧民の世界から帝国の辺境へ —」『内陸アジア史研究』30, 77–85 頁

中村仁志「モスクワ大公ヴァシーリー 2 世とタタール人皇子カシム」『關西大學文學論集』65(2), 1–17 頁

名越健郎「中央アジアをめぐる中露角逐」『海外事情』63(6), 104–119 頁

西川達治「キルギス共和国の民間による森林造成とその展望」『開発学研究』25(3), 37–43 頁
西原明史「レヴィナスによるラカン：ウイグル族の「主体性」を理解するために」『安田女子大学紀要』43, 79–91 頁
西山美久「現代ロシアにおける「愛国主義」の相貌：タタルスタン共和国の動向を中心に」『政治研究』62, 67–101 頁
新田志穂「現代ウイグル語の接辞 -lIK について」『北方言語研究』5, 191–203 頁
ヌルマンベトヴァ・アクベルメット「〈Articles〉発展途上国の地域開発に向けた日本の支援活動に関する研究：キルギス共和国における一村一品運動を事例に」『国際日本研究』7, 213–227 頁
ネマトフ・ジュラベック「ウズベキスタンにおける行政裁判制度の法的諸問題 (2) 旧ソ連における行政に対する司法審査との比較研究」『名古屋大学法政論集』261, 195–224 頁
———.「ウズベキスタンにおける行政裁判制度の法的諸問題 (3) 旧ソ連における行政に対する司法審査との比較研究」『名古屋大学法政論集』263, 323–356 頁
根本和幸「非国家主体に対する武力紛争における jus ad bellum の継続的用の意義：アフガニスタンにおける対テロリズム紛争の検討」『国際法外交雑誌』114(3), 280–304 頁
野崎晃央、山本忠男、清水克之、他「中国トルファン地区における灌漑農業の実態と課題」『農業農村工学会北海道支部研究発表会講演集』64, 42–47 頁
早川尚志「明代東トルキスタンの交易路とその変遷」『ラーフィダーン』36, 83–110 頁
———.「ティムール朝期の「一日行程」と駅伝制」『内陸アジア史研究』30, 23–49 頁
林裕「紛争影響下の農村生活の在り様：アフガニスタンにおける外部者と内部者の視点から」『東洋研究』198, 1–37 頁
バヤリタ「オイラトモンゴル人の野生植物利用：新疆ウイグル自治区イリ・カザフ自治州テケス県を事例に」『千葉大学ユーラシア言語文化論集』17, 55–102 頁
ハルナザロフ , マムルジョン「ウズベク語の愛称形成について：日本語との対照的観点から」『言語・地域文化研究』21, 41–60 頁
東島雅昌「中央アジア諸国における選挙制度の「改革」：選挙権威主義体制下の選挙制度設計とその帰結」『選挙研究』31(2), 62–76 頁
ヒクマトラエフ .・ジャスル「20 世紀初頭のトルキスタンにおける社会問題：特に人生儀礼 (xatna, to‘y, aza) について」『クァドランテ』17, 193–207 頁
日高晋介「ウズベク語における欠如を表す -siz」『言語・地域文化研究』21, 217–230 頁
樋渡雅人「ウズベキスタンにおけるパトロネージ・ネットワークの分析：政治経済学的な視点から」『比較経済研究』52(1), 33–46 頁
深山剛「海外通信 中央アジアにおける鉄道の現状と課題」『運輸政策研究』18(3), 24–27 頁

フクヤマ , フランシス、会田弘継「そして、中央アジアでの覇権争いが始まる 習近平、プーチン演ずる「新・世界秩序」の舞台裏」『中央公論』129(6), 80–87 頁
藤巻裕之「中央アジア諸国をめぐるリージョナル・セキュリティ・ガバナンス」『ロシア・ユーラシアの経済と社会』993, 2–11 頁
プラット , ジェイソン「アフガニスタン新政権と SCO の新たな役割の可能性」『ロシア・ユーラシアの経済と社会』993, 12–20 頁
星野昌裕「習近平政権の全体像 : 改革の検証と今後の可能性 (最終回) 習近平政権と新疆ウイグル自治区の民族問題」『東亜』573, 100–107 頁
Matsui, Dai, Ryoko Watanabe and Hiroshi Ono, “A Turkic-Persian Decree of Timurid Mīrān Shāh of 800 AH/1390 CE,” *Orient*, 50, pp. 53–75
マックブライド , ジェームズ「CFR Backgrounder 中央アジアで衝突する米中のシルクロード構想」『Foreign affairs report』2015(7), 67–73 頁
水谷尚子「「イスラム国」を目指すウイグル人 : 現地徹底取材」『文芸春秋』93(9), 368–375 頁
———.「ウイグル人の反中武装レジスタンス勢力とトルコ、シリア、アフガニスタン」『アジア遊学』193, 265–288 頁
三宅隆史「アフガニスタンの先住民族の教育政策についての一考察」『上智教育学研究』28, 27–35 頁
武藤顕「論苑 中央アジアを巡る国際環境と日本」『日本貿易会月報』738, 40–44 頁
森本一夫「ティムール家のアリー裔血統主張に関する新証拠」『オリエント』57-2, 77–90 頁
柳沢民雄「北西カフカース諸諸のアクセント体系の比較 (1) 」『言語文化論集』37(1), 77–90 頁
山本直樹「中東・中央アジアの児童書事情 (出張報告)」『国際子ども図書館の窓』15, 26–32 頁
———.「世界図書館紀行 タシケント (ウズベキスタン)」『国立国会図書館月報』655, 21–27 頁
ヤラシェフ・ノディルベック「独立前ウズベキスタンにおける事業体の概念の形成とその沿革 : イスラーム法、帝政ロシア法、ソ連法の比較を中心に」『早稲田大学大学院法研論集』153, 317–341 頁
吉武惇二「世界の主な国際パイプライン (第 34 回) カザフスタン、ウズベキスタンから中国へ向かう国際天然ガス・パイプライン」『クリーンエネルギー』24(1), 64–71 頁
李丹慧（著）、吉田豊子（翻訳）「国の中の国 : 新疆におけるソ連の社会的基盤に関する考察 (1945 年〜 1965 年)」『京都産業大学論集 人文科学系列』48, 407–30 頁
レジス・ジャンテ（著）、嶋崎正樹（翻訳）「LE MONDE diplomatique 迷走の中央アジアをめぐるパワーゲーム」『世界』866, 234–241 頁
和崎聖日「旧ソ連・中央アジアのウラマー一族と『英知集』」『歴史評論』783, 48–57 頁
輪島実樹「中央アジア国家建設二十余年の軌跡」『ロシア NIS 調査月報』60(7), 56–69 頁

渡辺紫乃「中国のシルクロード経済圏構想の実態と背景」『東亜』573, 30–38 頁